

ごあいさつ

涼秋の候、市民の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、湖誠会に對しまして温かいご支援ご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、去る9月通常会議においては、令和元年度の各会計決算、補正予算及び条例関係などを含む計39議案を審議いたしました。

総合計画第1期実行計画の3年目となる昨年度の決算では、ごみ処理施設改築更新の推進、中学校給食全市実施の開始、また、幼児教育・保育無償化開始による子育て支援施策の充実など、厳しい財政状況の中、健全財政の堅持が図られた結果、一般会計における実質収支は昭和53年度以降、42年連

続の黒字となりました。

加えて、新型コロナウイルス感染症への対策として、市内小規模事業者応援給付金の申請期間延長に伴う追加経費、市立大津市民病院における感染症用救急外来棟の整備に係る運営負担金、かねてから早期の移転整備を求めている中消防署の用地取得に向けた測量経費などを含む総額約29億円の補正予算を議決しました。

わが湖誠会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた医療体制の拡充や停滞する地域経済の活性化に向けた取り組みに対し、引き続き支援していくとともに、「夢があふれるまち大津」の実現に向け、所属議員が一人となって尽力してまいります。



幹事長
竹内 昭夫

前列右より

津田 新三議員
竹内 照夫議員
竹内 基二議員
草野 聖地議員

後列右より

近藤 眞弘議員
仲野 弘子議員
川口 正徳議員
寺田 英幸議員

令和3年度「政策要望書」を市長に提出

令和2年10月8日(木)、令和3年度予算編成にあたり、106項目に及ぶ湖誠会としての「政策要望書」を市長に提出しました。

市民の皆様が安心・安全に住み続けることができる活力ある大津市を目指し、今後も全力で取り組んでまいります。



「政策要望書」を市長に提出

市長・執行部を交えた活発な意見交換を実施

政策要望の主な項目は、中消防署の移転整備とそれに伴う庁舎整備の早期実現、新型コロナウイルス感染症対策を視野に入れた各種施策の充実と新しい生活様式の確立、子育て支援の更なる充実、また、道路整備等を含め災害に強いまちづくりに向けた取り組みが中心であり、厳しい財政状況の中、それぞれの政策について、着実かつ計画的に取り組みよう強く要望しました。



意見交換会

位置図



概要

●トピック
◎大津市中消防署の更新整備に係る移転について
●移転場所 びわこ競艇場駐車場敷地
●交渉経過 用地取得に向けて滋賀県と協議中であり、令和7年度の竣工を目指す

かねてより、防災拠点施設でありながら、必要な耐震化が図られていない中消防署の整備について、大津市は8月25日、同署から北東約600mに位置する「びわこ競艇場駐車場(皇子が丘三丁目)」敷地の一部を移転場所として絞り込み、用地取得に向けて滋賀県との調整を継続していることを発表し、併せて、今期9月補正予算において、当該用地の測量委託料約683万円の委託料を計上しました。消防局によりますと、以前から同署の移転先として検討を進めてきた4箇所6候補地とは別に、平成30年度から「びわこ競艇場駐車場」が候補地になりうるかの検討を開始し、本年4月より滋賀県との協議を重ねてきました。

その結果、同駐車場は約770台の区画を有しているものの、満車になるのは年間10日程度であることなども踏まえ、今回の方針決定に至ったとことです。

今後は、同敷地内の取得に向けて引き続き滋賀県との調整を継続し、今年度中に境界確定、令和3年度に用地取得、令和4年度以降に移転整備工事に着手し、令和7年度の竣工を目指すとしています。そして、同署の移転整備に併せて、市役所別館を含め老朽化が進む本庁舎の整備基本方針の策定が焦点になると考えます。

令和元年度 大津市決算の概要

9月通常会議において、一般会計を含む14会計の令和元年度決算について審査し、全ての決算議案について認定しました。

総括

- 歳入・歳出総額ともに前年度を上回り、決算規模は拡大しました。
- 単年度収支、実質単年度収支ともに前年度に比べて改善しました。

歳入

- 市税は対前年度比で10.5億円の増収となりました。 (+2.1%)
- 国庫支出金は対前年度比で7億円の増収となりました。 (+3.2%)
- 地方消費税交付金は対前年度比で3.4億円の減収となりました。 (△5.9%)

歳出

- 人件費等の義務的経費は対前年度比で39.4億円の減となりました。 (△5.6%)
- 一般行政経費は対前年度比で117.3億円の増となりました。 (+32.6%)
- 各種施設整備等の投資的経費は対前年度比で27.8億円の増となりました。
- 主な事業 ・ごみ処理施設改築更新の推進 (+20.8%)
- ・東部学校給食共同調理場の整備完了に伴う中学校給食全市実施の開始

一般会計決算額

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	R01/H30
歳入	133,915,713	121,539,014	110.20%
歳出	130,318,476	119,750,944	108.80%
差引(形式収支)	3,597,237	1,788,070	201.20%
実質収支	2,715,506	1,294,192	209.80%
単年度収支	1,421,314	▲2,187,781	著増
実質単年度収支	3,259,131	2,346,238	138.90%

実質収支：形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額

単年度収支：当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

実質単年度収支：単年度収支に実質的な黒字を加え、実質的な赤字を差し引いた額

令和2年9月補正予算のポイント

9月1日～10月13日の43日間にわたって開催された令和2年9月通常会議においては、総額約29億円を追加する補正予算案が提出され、全会一致で可決しました。

1. 新型コロナウイルス感染症対策事業

●中小企業者等への支援経費の追加

→本市独自施策である小規模事業者応援給付金の申請期間を当初の8月末から12月末に延長するとともに、申請件数についても当初見込みの約3,600件から6,000件に増加し、その必要経費として6億4,750万円を追加措置するもの。

●市立大津市民病院に対する運営費負担金の追加

→同病院における感染症用ER(救急外来)の整備に要する経費に対し、運営負担金として約1億3,160万円を追加措置し、12月末の完工を目指すもの。

●高齢者、子ども、妊婦を対象とするインフルエンザ予防接種の公費助成の拡充

→新型コロナウイルス感染症の感染拡大を見据え、インフルエンザ罹患者の低減を目的に、接種優先度が高い高齢者、子ども、妊婦を対象に、令和2年度末までの間、予防接種の公費助成分として約2億1,240万円を追加措置するもの。

●国のGo To トラベルキャンペーン及び県施策と連動した市内宿泊施設利用者への市独自の宿泊助成及び市内観光滞在コンテンツ造成事業の推進

→市内宿泊施設の利用者(県民)1人1泊に対

し、宿泊費用の一部を市独自で助成するなど、宿泊観光の誘客推進に要する経費として8,400万円を措置するもの。

2. その他の事業

○中消防署建替えに伴う用地測量委託料

約683万円

○森林環境譲与税を原資とした市森林整備基金の造成及び事業推進費

約3,005万円

○小中学校の教育環境改善に向けた経費

(小中学校トイレ改修など) 約2,714万円

主な事業

9月通常会議一般質問

※質問順に掲載しています。

Q

竹内 基二 議員

大津市内の城跡整備について

膳所城跡公園内に作られたお堀は、ここ5年以上水が抜かれたままになっており、せっかくの景観が台なしになっている。「麒麟がくる」をチャンスに戦国時代の城跡をPRしようとする狙いが全く生かされていないと考えるが、こうした現状に対し、大津市としてどのような認識を持っているのか、見解を伺う。

A

膳所城跡公園のお堀は、地下水に鉄分が多含まれ、赤く濁る問題が生じたことから、空堀としていた。この問題を解決するため、琵琶湖の水を利用することについて、滋賀県と協議を重ね、本年8月11日付で許可を得ることができた。については、年内にポンプを設置して、空堀を解消したいと考えている。

Q

仲野 弘子 議員

都市計画道路3・5・101号本堅田衣川線の整備について

都市計画道路本堅田衣川線は、周辺の学校園に通う子どもたちが登下校の際に利用するなど、多くの地域住民の生活道路であり、観光バスが行き交うルートであることから、安全性・快適性の向上とともに地域間交流促進の両面より、1日も早い整備が期待されている。そこで、現在整備中の周辺県道との整合を図った整備スケジュールの検討が効果的だと考えるが、見解を伺う。

A

当該道路は、周辺県道の整備と整合を図る必要があると認識しており、整備スケジュールについては、周辺県道並びに本線の事業効果を見込み、本市が受けている事業認可の期限を目的に整備を進めていく。

Q

寺田 英幸 議員

多目的トイレの整備に対する本市の考え方や取り組みについて

公衆トイレは、子ども、高齢者、障害者、車いす利用者、オストメイトの方、外国人など、さまざまな立場の方が利用されるが、市内に設置されているユニバーサルデザイントイレの老朽化の進展が散見される。今後は、バリアフリー、オストメイト、ジェンダー等に対応した多目的トイレの設置が求められると考えるが、今後どのような方針で進めるのか、見解を伺う。

A

本市では、障害の有無や年齢、性別、国籍などにかかわらず、全ての人々を対象とするユニバーサルデザインに配慮したまちづくり方針のもと、多目的トイレの整備に向け、公衆トイレについても改修を進めていく。

Q

竹内 照夫 議員

膳所駅南側駅前広場整備の進捗状況と今後の整備方針について

平成31年3月、膳所駅周辺整備基本構想及び同基本計画に基づき、橋上駅舎化と併せて北側駅前広場の暫定的な整備が完了した。また、同年11月通常会議では、年度内に南側駅前広場の素案を作成し、令和2年度に基本的な方向性を検討することであったが、その進捗状況と今後の整備方針について伺う。

A

課題となっている歩行者動線の課題解決について、民間活力による整備を検討したが、解決に繋がる提案がなく、計画の具体化には至らなかった。今後は関係者との協議を行いながら、まずは民間活力の活用を含めた周辺土地と一体的な駅周辺整備の可能性を検討していく。

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。